

- (3) 本文中には次の一文が入りますが、入る場所として最も適切なものを、本文中の A、B、C から選び、記号で答えなさい。

そろそろ何でもいいから自然の音が聴きたい、自然がある場所に行きたいよ、と。

- (4) 地球が創り出す音や景色にふれることについて、本文中で筆者が述べている内容をまとめた次の文の に入る最も適切なひとつづきのことを、本文中から九字で書き抜いて答えなさい。

〈地球が創り出す音や景色にふれ、自分の中に ことは、心が穏やかになり、身体が元気になってゆくなど、さまざまなポジティブなことをもたらしてくれるかもしれない。〉

- 2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

一弟ありて、その兄と同じく学問をなして、^①名望の兄にしかざるを恥ある所に弟がいて

ぢて、ややもすれば人に対して兄の短をいふ。或人これを教へていふ、

「^{そくか}足下と^{れいけい}令兄と、博學ひとしく詩文ひとしく、^{詩と文章}手かきすることまで、何一^{巧みに字を書くこと}

つも令兄に劣りたる事なくて、名望令兄にしかざるは、徳行のおよばざる故なり。もし足下、令兄に勝たんとおぼさば、今より心を改めて徳行を修

めなば、やがて令兄よりも上に立ちなんこと必せり。」といふ。^②弟大いに悦

び、^{昼も夜も言動を慎み}日夜言行を慎み、二年ばかりも経て、^{になん}二難の誉れあるに至りしかば、^{優劣をつけがたい兄弟という名声}

弟の驕慢^{けうまん}いつのまにかやみて、兄をそしる事なきのみならず、兄を敬ひ仕

へて、^③人の耳目を驚かせし事あり。

〔筆のすざび〕より

- (1) 〰線部「教へていふ」を現代かなづかいに直し、すべてひらがなで書きなさい。

- (2) 〰線部「短」の意味として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 欠点 イ 不正 ウ 秘密 エ 失敗

- (3) 〰線①「名望の兄にしかざる（名声と人望が兄にかなわない）」とありますが、その原因を「或人」はどのように考えていますか。それが

わかることを、本文中から十一字で書き抜いて答えなさい。

6

(4) — 線②「弟大いに悦び」とありますが、それはどうしてですか。現代語で書いて答えなさい。

7

(5) — 線③「人の耳目を驚かせし事」とは、だれの、どのような行為のことですか。次のような形で説明するとき、I、IIIには適切な人物を、IIには適切なことばを書いて答えなさい。

〈Iの思ひ上がった態度が改まり、IIだけなく、IIIに対して敬い仕えるようになったこと。〉

3 次の漢文と解説文を読んで、あとの問いに答えなさい。

人の短を道ふこと無かれ、己の長を説くこと無かれ。
人に施しては慎んで念ふこと勿かれ、a 慎んで忘るること勿かれ。

① 施^{シテハ} 人^ニ 慎^{ンデ} 勿^{カレ} 念^{フコト} ② 無^{カレ} 道^{フコト} 人^ノ 之^ヲ 短^ヲ 無^{カレ} 説^{クコト} 己^ノ 之^ヲ 長^ヲ

〔崔瑗「座右銘」より〕

(解説文) この文は、崔瑗という人物が、自分の身近な所(座右)に置いて戒めとするために書いたものである。^③ 他人の欠点を言わないこと。

b を口にしなさい。他人に恩恵を与えた時は、決して心に留め

ておかないこと。他人から恩恵を受けた時は、くれぐれも感謝の気持ちをc こと。と四つの戒めを示している。

3

(1) a に入るように、— 線②「受^{ケテハ} 施^{シテハ}」を書き下し文に直して書きなさい。

4

(2) — 線③「他人の欠点」に当たることばを、漢文中から三字で書き抜いて答えなさい。

5

(3) b、c に入る適切なことばを、それぞれ五字以内で書いて答えなさい。

4

(4) — 線①「施^{シテハ} 人^ニ 慎^{ンデ} 勿^{カレ} 念^{フコト}」とありますが、そのように心がけておくのがよい理由として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 面倒な人間関係から離れ、悠然と生活することが大事だから。
イ 相手から思わぬ恩返しがあった方が喜びは大きいから。
ウ 相手に、再び助けてもらえると期待させてはいけないから。
エ 人に対しておごらず、謙虚な気持ちで接することができるから。

4 次の漢詩を読んで、あとの問いに答えなさい。

【I】

* 汪倫に贈る 李白

李白舟に乗つて 将に行かんと欲す

忽ち聞く岸上 踏歌の声

* 桃花潭水深さ千尺

及ばず汪倫我を送るの情に

李白乗舟将欲行
忽ち岸上踏歌声
桃花潭水深千尺
不及汪倫送我情

(注) 汪倫 李白の友人の名前。

将に 今にも。

踏歌 足で地を踏んで調子を取って歌うこと。またその歌。

桃花潭 川の名前。潭は水が深くよどむところ。

【II】

* 黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る

故人西のかた黄鶴楼を辞し

煙花三月 揚州に下る

孤帆の遠影碧空に尽き

* 惟だ見る長江の 天際に流るるを

李白
故人西辞黄鶴楼
烟花三月下揚州
孤帆遠影碧空尽
惟見長江天際流

(注) 黄鶴楼 長江のほとりにあった高い建物。

揚州 長江下流の都市。広陵のこと。

惟 「唯」と表記される場合もある。

天際 空の果て。

6 【I】【II】に共通する漢詩の形式を、漢字四字で書いて答えなさい。

4 (2) 【I】の——線部「李白乗舟将欲行」に、返り点と送り仮名を補うとき、書き下し文を参考にして、解答欄の に返り点を、「」に送り仮名を片仮名で書きなさい。

4 (3) 【II】の詩の中で「別れを告げる」の意味で用いられている漢字一字を書き抜いて答えなさい。

4 (4) 【I】【II】の書き下し文に共通して見られる表現技法として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 対句法 イ 反復法
ウ 倒置法 エ 体言止め

(これで問題は終わりです)